



認知症の人にやさしい まちづくりの始め方

～先進地域に学ぶ チームづくりと対話のコツ～

2019年

10/16 (水)

千葉 開催

認知症の人にやさしいまちづくりを始めるために

認知症の人にやさしいまちづくりを進めるには、このテーマに関心のある介護・福祉従事者だけでなく、認知症当事者と家族・自治体・自治会などの地域コミュニティ・商店街など地元事業者・企業など、多様なステークホルダーを招き入れ、まちのビジョンを描き共有しながら、実現に向けた行動を一緒に起こしていく必要があります。

その最初の一步となるのが、まちづくりを推進する「コアチームをつくる」ことです。取り組みがどんどん進んでいく地域には、介護事業所職員と自治体職員など、立場の異なるメンバーによって構成されたコアチームが存在します。

多様性のあるコアチームができれば、次はさらに多様なステークホルダーを仲間に招き入れる必要があります。

この両方を進める上で鍵となる要素が、「対話」です。コアチームがファシリテーターとなって、みんなの想いと主体的なアクションを引き出していきます。

…………… 講師 ファシリテーター ……………



徳田雄人

NPO 法人認知症 フレンドシップクラブ
理事、株式会社 DFC パートナーズ代表



森 光輝

社会福祉法人七五三会 企画室長、
認知症フレンドシップクラブ町田
事務局

開場：13:00

時間：13:30 ～ 16:30

会場：ダイワロイネットホテル千葉中央
ミーティングルーム

千葉県千葉市中央区本千葉町 2-11

定員：40 名

参加費：3,000 円

お問合せ：machi@dfc.or.jp

申込フォーム：https://machi-chiba.peatix.com



「認知症の人にやさしいまちづくりの始め方」について、
イベントを開催します！

多様性のあるコアチームをつくるにはどうすればいいのか？
コアチームから、ステークホルダーを広げていくためにはどう
すればいいのか？ 町田市や他先進事例など、地域での実践
事例の紹介を交えながら、お話しします。

《プログラム》

- ・認知症にやさしいまちの事例紹介
- ・認知症にやさしいまちをつくるための「対話」
- ・多様性のあるコアチームをつくるには？

～コアチームの仲間を招き入れるための「問い」を考えてみよう～